

地域活性化の実現に向けて

地域活性化の実現とほくとしんきんブランドの確立

平成27年4月からの10年間を見据えた「10カ年長期経営計画」を策定し、「地域活性化の実現とほくとしんきんブランドの確立」を長期ビジョンに掲げています。

令和5年度は、第3期となる3カ年中期経営計画「地域元気宣言 innovation」の最終年度として、課題解決による地域経済の力強い回復に貢献してまいります。

10カ年長期経営計画「地域活性化の実現とほくとしんきんブランドの確立」



10カ年長期経営計画ビジョン

『地域活性化の実現とほくとしんきんブランドの確立』

地域の旗振り役として、地域の将来像づくりと地域活性化をリードし、お客さまから「取引して良かった」と思われる親近感・信頼感のある地域金融機関を目指し、職員にとって誇りの持てる信用金庫として「ほくとしんきんブランド」を確立する。

基本方針

- (1) 地域社会発展への貢献 (2) 持続性のある経営の確立 (3) 意識改革と人財育成の強化

地域元気宣言 innovation (第3期3カ年中期経営計画)

～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～
令和3年度～令和5年度

令和5年度基本計画(基本戦略と取組み施策)

経営基盤戦略	
経営管理戦略	管理職のマネジメント力の向上
リスク管理戦略	コンプライアンス・リスク管理の向上
	リスク管理態勢の充実
	マネー・ローンダリングおよびサイバーセキュリティ対策の強化
自己資本戦略	計画的な優先出資の消却
	収益力の向上
事務効率化戦略	事務プロセスの見直しによる合理化・効率化・簡素化
	システムの有効活用と高度化
	融資業務の合理化・効率化・簡素化
人事戦略	「営業力の強化」に向けた組織的な人財育成
	経営戦略と連携した人事制度の確立
	「職員エンゲージメント」向上につながる取組み

営業戦略	
事業所向け戦略	付加価値の高い課題解決型金融の実践による本業支援
	事業承継支援の強化
	新たな課題を踏まえた経営改善支援の実施
個人向け戦略	お客さまの多様なライフスタイルやコロナによる新常態に対応した営業活動の実践
	顧客階層に応じた商品・サービスの提供
市場運用戦略	「お客さま本位の業務運営」への取組みの徹底
	市場運用力の強化
ブランド戦略	行政等の地域関連団体、地域企業等と連携した地域活性化施策の実践 SDGsの視点を踏まえた地域におけるソーシャルマインドの醸成
店舗戦略	店舗・ATMの再配置



ほくとしんきんSDGs宣言 ~未来のために、今できること~

当金庫は令和3年12月20日にSDGs宣言を行いました。

経営理念に掲げる「地域社会の発展に貢献する」「誠実と親切を旨として会員顧客の繁栄に寄与する」「相互信頼のもとに職員家族の福祉増進に努める」のもと、当金庫の事業活動を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献することで、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に努めてまいります。

ほくとしんきんのSDGs取組方針

- ①地域産業の振興、地域経済の持続的な繁栄に向けた取組み
ほくとしんきんは、地域事業者への金融仲介機能を発揮し、お客さまの課題解決を支援することで地域経済の持続的な繁栄に貢献します。
- ②暮らしやすい街づくり、魅力ある地域社会づくりに向けた取組み
ほくとしんきんは、地域住民の皆さまへの金融サービスの提供と、法令順守・金融犯罪防止等に努めることで、暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。
- ③地球環境保全に向けた取組み
ほくとしんきんは、地域環境の保全活動に加え、省エネ、省資源に努めることで、将来にわたる地球環境保全に貢献します。
- ④人財育成と働きがいのある職場づくりに向けた取組み
ほくとしんきんは、お客さまの様々なニーズにお応えできる職員を育てるとともに、多様な職員が活躍できる、働きがいのある職場づくりに努めます。



地域産業の振興、地域経済の持続的な繁栄に向けた取組み

- 事業性融資商品による中小企業への円滑な資金供給
 - ・食に関する地域資源の有効活用「ほくと“食”の応援団」
 - ・認定農業者向けのほくと農業おうえんローン「豊作の願い」
 - ・NPO法人向け「ほくとNPO事業支援ローン」
 - ・ほくと創業支援ローン「ドリーム」
 - ・ソーシャル企業向け「ほくとしんきんソーシャル・グッド融資」
 - ・日本政策金融公庫と連携したCLO融資「ほくとしんきん地域元気ローン」(令和4年12月末までの取扱い)
 - ・京都府との連携による脱炭素化を促進するための「サステナビリティ・リンク・ローン」
- 事業者のライフステージに応じた課題解決支援
 - ・補助金申請支援
 - ・ビジネスマッチング支援
 - ・副業・兼業人材マッチング支援
 - ・BCP計画策定支援
 - ・クラウドファンディングの活用支援
 - ・創業・新規事業支援、経営改善支援、事業承継支援、M & A支援
- ネットワークを活用した産業振興支援
 - ・自治体や商工団体との連携による地方創生支援
 - ・京都工芸繊維大学、舞鶴工業高等専門学校、福知山公立大学との産学連携
 - ・若手経営者の会への積極関与による事業者育成支援
 - ・他信用金庫が実施する年金旅行誘致
 - ・まちづくりファンドによる市街地活性化支援
 - ・休眠預金等を活用した京都府北部地域におけるコミュニティ支援事業(令和4年度)
- ソーシャル企業認証制度による企業価値の向上支援
- 職員の副業解禁による地域事業者への人材支援

地球環境保全に向けた取組み

- 省エネルギー、省資源、リサイクルの取組み
 - ・当金庫事務処理のペーパーレス推進
 - ・通帳レスアプリによる紙資源の使用量削減
 - ・現金封筒の設置見直しによる紙資源の使用量削減
 - ・照明のLED化等による使用電力量の削減
 - ・新築店舗への太陽光発電設備の設置
 - ・クールビズ・ウォームビズスタイルでの勤務
 - ・福知山市でのエネルギー地産地消の取組み
 - ・「地域脱炭素・京都コンソーシアム」参画による地域中小企業の脱炭素化促進
- 地域の清掃活動への積極的な参加

暮らしやすい街づくり、魅力ある地域社会づくりに向けた取組み

- 地域住民への金融サービスの提供
 - ・預金、為替等決済サービスの提供
 - ・ライフプランに応じた融資商品の取扱い
 - ・投資信託、保険商品等による老後資産形成の支援
 - ・医療・傷害保険等による備え充実の支援
 - ・インターネットを活用した金融サービスの利便性向上
 - ・お客さま本位の業務運営の徹底
- 犯罪防止に向けた取組み
 - ・マネロン及びテロ資金供与防止対策への取組み
 - ・特殊詐欺防止に向けた取組み
- 人にやさしい店舗づくり
 - ・役職員の認知症サポーター養成講座の受講
 - ・電話リレーサービスの取扱い
 - ・ATMコーナーへのAED設置
 - ・新築店舗への多目的トイレの設置
- 公益財団法人ほくと育英会による大学生向け奨学金の支給
- スポーツ大会の主催、協賛
- 地域行事への積極的な参加

人財育成と働きがいのある職場づくりに向けた取組み

- 職員の成長につながる体系的な研修制度
- 職員の能力を重視する職能資格制度をベースとした人事・給与体系
- 女性職員活躍の推進「えるぼし」認定取得
- 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定取得
- 連続休暇制度、定時退庫日等によるワークライフバランスの推進

地域活性化の実現に向けて

地域活性化の実現に向けた取組みについて

当金庫では、各自治体が推し進める地方創生を後押しするとともに、お客さまの経営課題解決を積極的に支援しています。お客さまにとって一番身近な金融機関として良き相談相手となり、地域になくてはならない地元金融機関として「親しみがあり、何でも相談でき、安心できる」存在として、お客さまのニーズにあった最適なソリューションをご提供しています。

これからも、外部専門機関等とも連携し本部と営業店が一体となってお客さまを支援することで、地域のしごとを創出し、中小企業の売上を伸ばすことによる地域活性化の実現に向け取り組んでまいります。



ソリューションメニュー

創業・開業
①創業・新規事業支援
企業成長期
②クラウドファンディング活用支援
③販路拡大支援・ビジネスマッチング
④産学連携支援
⑤海外ビジネス展開支援
⑥補助金活用支援
⑦専門家派遣支援
⑧人材マッチング支援
転換期
⑨経営改善支援
事業承継期
⑩事業承継支援

地域密着型金融の取組状況 (令和4年4月から令和5年3月までの主な取組み内容と実績)

当金庫では、地域社会の発展に貢献し、会員顧客の繁栄に寄与することを経営理念とし、中小企業の再生と地域経済の活性化を基本とした、持続的発展が可能な地域社会づくりに向けた取組みを推進しています。

● 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

地域の雇用を創出する創業・開業を支援!!

◎日本政策金融公庫と連携した開業段階での支援

日本政策金融公庫の協力のもと、創業予定先の事業計画策定支援に取り組み、創業支援融資「ドリーム」およびプロパー・保証協会対応による資金供給に努めました。

(令和4年度実績)

	取組件数	取組金額
創業支援融資「ドリーム」等の取組実績 (日本政策金融公庫との協調融資を含む)	24件	93百万円

【連携スキーム図】





お取引先の販路開拓や事業拡大を積極的に支援!!

◎ビジネスマッチングの取組み



◎営業エリア内マッチングの積極推進と全国の信用金庫取引先とのマッチング支援

多店舗展開のメリットを生かし、お客さまのマッチングニーズに関する情報を当金庫の全職員がリアルタイムに共有できる「ビジネスマッチング掲示板」を活用し、お取引先企業間のビジネスマッチングに取り組んでいます。

また、全国の信用金庫取引先が取り扱う商品を掲載したグルメカタログ「旬彩カタログしんきんのつなぐ力」への掲載支援を実施しました。

(令和4年度実績)

名称	先数
ビジネスマッチング掲示板成約	34先
「旬彩カタログしんきんのつなぐ力」への掲載	2先

◎「DESIGN WEEK KYOTO in 丹後・中丹」への出展支援

令和4年11月に開催された、ものづくり関係者のマッチングや新しいビジネスへのチャレンジ、丹後・中丹のものづくりを100年後につなげていくことを目的とした、ものづくり現場を期間限定で公開するイベント「DESIGN WEEK KYOTO in 丹後・中丹」への出展支援を行いました。当金庫職員もスタッフとして運営に協力し、情報発信の場を創出しました。

(令和4年度実績)

名称	出展支援先数
DESIGN WEEK KYOTO in 丹後・中丹	25先



◎ソーシャル企業認証制度を活用した企業価値の向上支援

京都信用金庫、湖東信用金庫および龍谷大学ユネスドソーシャルビジネスリサーチセンターと連携して令和3年4月にソーシャル企業認証制度を創設しました。社会課題に取り組む企業を認証することで、地域企業の価値向上およびビジネスの成長につなげるとともに、地域社会のソーシャルマインドの醸成および持続可能な社会を実現することを目指しています。

令和4年4月には、認証企業やソーシャルビジネスを営む企業を対象とした「ほくとしんきんソーシャル・グッド融資」の取扱いを開始し、資金面でのバックアップに努めました。また、令和5年1月には、認証企業のソーシャルビジネスの実践事例の共有や認証企業同士のネットワーキングの醸成および、今後のビジネスマッチングにつなげることを目的に、オンラインで交流イベントを実施しました。



ソーシャル企業認定書授与式

(令和5年3月末時点)

	企業数
ソーシャル企業認証制度認証企業	54先

(令和4年度実績)

	取組件数	取組金額
ほくとしんきんソーシャル・グッド融資	3件	25百万円

地域活性化の実現に向けて

◎補助金・助成金の申請支援

各種補助金等の申請にあたり、ブラッシュアップ等の伴走支援を行いました。

(令和4年度実績)

名 称	申請支援件数	うち採択件数
ものづくり補助金	9件	7件
事業再構築補助金	34件	25件

(令和4年度実績)

名 称	主催・協力	参加先数
補助金説明会	近畿経済産業局 等	33先
事業再構築補助金個別相談会	株式会社エフアンドエム	17先

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会に対応するための新分野展開や業態転換等の思い切った事業再構築・規模拡大を支援する「事業再構築補助金」では、補助金の申請についての説明会や個別相談会を近畿経済産業局や株式会社エフアンドエムの協力により行ったほか、公募期間中は申請書作成にあたり、専門家派遣等を行い、お客さまと一体となった伴走支援に努めました。

◎外部機関や外部専門家と連携した課題解決への支援

お客さまが抱える専門的な課題の解決を実践するために、京都府よろず支援拠点等の外部機関や外部専門家との連携による個別相談会やセミナー、専門家派遣等を実施しました。

(令和4年度実績)



製造業向けセミナー

名 称	主催・協力	参加・支援先数
省エネオンラインセミナー	当金庫	16先
「会社のてらこやAI~インボイス制度への対応とkintone~」セミナー	株式会社ウエダ本社 等	18先
外国人材採用にかかる介護事業者・医療機関向けセミナー	信金中央金庫	4先
飲食業・製造業向けセミナー・個別相談会	京都府よろず支援拠点	17先
各種個別相談会・専門家派遣	京都信用保証協会、京都府よろず支援拠点、中小企業119 等	374先

後継者問題を抱えるお客さまの円滑な事業承継を支援!!

◎事業承継や後継者問題を抱える企業への支援

お客さまが抱える様々な経営課題の相談窓口として、京都府事業承継・引継ぎ支援センターや信金キャピタル株式会社との連携による専門家派遣を実施しました。また、事業承継・M&A支援体制を強化するために、令和4年4月、地域創生事業部内に「事業承継支援課」を設置しました。

(令和4年度実績)

名 称	連 携 先	先数・件数
事業承継・M&A成立	事業承継・引継ぎ支援センター 等	8先
はじめての「事業承継」を学ぶオンラインセミナー	インクグロー株式会社	2先
事業承継個別相談会	兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター	3先
その他の専門家派遣	京都府事業承継・引継ぎ支援センター 等	140件

お客さまの経営改善に向けた課題解決をサポート!!

◎経営改善支援の取組み

当金庫では、業績や財務内容に課題を抱えているお客さまへの支援を目的に経営改善計画の作成支援やアドバイスを実施しています。京都府中小企業活性化協議会や外部専門家等を積極的に活用し、精度の高い財務・事業調査を実施し、事業者実態を把握したうえで経営改善計画を策定することにより、効果的で実効性が伴う事業者支援に努めています。

また、新型コロナ対応融資先の約1,000先に対し毎月ヒアリングを行い、特に経営改善が必要な事業者105先については、収益力改善計画策定支援や集中的なモニタリングによる実態把握の実施、計画と実績に乖離が発生した先については、経営改善計画の再作成に向け、外部機関と連携した取組みを行うなど、伴走支援に努めました。

■経営改善支援・事業再生支援の取組み実績 (令和4年度実績)

	持込み件数	完了件数*
京都府中小企業活性化協議会	40件	30件

*完了件数は前年度からの繰り越し分を含んでいます。



■経営支援・事業再生支援の取組み実績

(令和4年度実績)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先数	αのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数	αのうち 再生計画を 策定している 全ての先数	経営改善 支援取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
合計	4,555先	105先	12先	92先	70先	2.30%	11.42%	66.66%

- (注) ・期初債務者数および債務者区分は令和4年4月当初時点で整理しております。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。
 ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβには含めておりません。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めております。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。
 ・γには、期中の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
 ・「αのうち再生計画を策定している全ての先数δ」には、金融機関独自の再生計画策定先のほか、中小企業活性化協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含んでおります。

● 地域の面的再生への積極的な参画

地方公共団体、海の京都DMO、商工会議所、商工会等と連携した地域活性化策の実施

◎「地域創生ワークショップ」の実施

次代を担う若手経営者の皆さまを対象に、地域課題に取り組んでいる先行事例を共有し、コミュニティを構築していく中で、地域課題をビジネスで解決するプレイヤーの醸成を図ることを目的とした「地域創生ワークショップ」を、令和4年12月2日と令和5年3月10日に開催しました。延べ65名の方に参加いただき、講演内容を踏まえ、地域課題やその対応について各所で活発な議論が行われました。



地域創生ワークショップin福知山

◎副業・兼業プロ人材活用事業

令和3年度に京都府北部5市2町において地域プラットフォーム「『海の京都』未来共創ネットワーク」を形成し、副業・兼業人材を活用することでお客さまが抱える「事業再構築・商品開発・DX」等の経営課題解決や、地域の関係人口の創出を目指し活動してきました。

令和4年度は、中小企業庁「中核人材確保支援能力向上事業」の実証機関として日本の金融機関で初めて採択を受け、副業・兼業プロ人材活用の取組みを活性化させました。

京都府北部5市2町においては、セミナーや募集企業説明会を行うとともに、営業係による伴走支援を行い、人材採用サイト「Skill Shift」において、当金庫取引先29社が登録され、採用人数は25人となりました。

また、南丹地域2市1町や兵庫県丹波地区においても、令和4年度より副業・兼業プロ人材活用事業を展開し、セミナーや個別相談会を開催しました。

(令和4年度実績)

名 称	参加先数
副業・兼業によるプロフェッショナル人材確保/活用推進セミナー	31先
オープンイノベーションによる南丹地域中小企業の経営課題支援セミナー	7先



副業・兼業によるプロフェッショナル人材確保/活用推進セミナー in宮津

地域活性化の実現に向けて

◎休眠預金を活用した社会課題の解決に向けたビジネスへの支援

当金庫は、プラスソーシャルインベストメント株式会社と共同で、休眠預金等活用「京都府北部地域におけるコミュニティ支援事業」の助成先を6団体採択し、「農村再生や地域の働く場づくり」など様々な社会課題の解決に向けた事業に対し休眠預金による助成により支援しました。

令和5年2月には実行団体の全ての事業が終了し、地域課題解決につながる事業成果を地域のより多くの方に知っていただき、次へつなげていくために、同年3月に「最終成果報告会」を実施しました。

京都府北部エリアは構造的な人口減少や新型コロナウイルスの影響等により、地域コミュニティの衰退を始め様々な社会課題が顕在化しています。当金庫は「地域活性化の実現」の一環として、このような社会課題をビジネスで解決する企業等(実行団体)を、休眠預金による助成により支援することで社会課題の解決につなげ、更には持続可能な地域社会を目指してまいります。



地域資源を活かした農水産業の育成支援

◎FOOD COLLABO LABO～海の京都「食」のオンライン商談会～の開催

「海の京都」が誇る特色ある製品の販路開拓や農水産物の6次産業化を促進するため、域内の生産者と域内外の飲食業者等の事業者とのマッチングの場として「Food collabo labo ～海の京都「食」のオンライン商談会～」をYouTube Liveにより開催しました。

京都府北部5市2町で一次産品等を生産されている生産者13社に出展いただき、YouTubeを活用したライブ配信を通して、地元産品のこだわりや魅力、栽培方法・生産方法等を紹介いただきました。アーカイブ配信を含む視聴回数は2,500回を超え、視聴者との商談も成立するなど、盛大なビジネスマッチングイベントとなりました。



交流人口増加への取組み

◎観光口コミ情報の発信

当地域の交流人口増加を目指し、「観光口コミ情報」をホームページ、Facebookにて発信しています。

「観光口コミ情報」では、当金庫役職員が実際に足を運び集めた地元の魅力を「体験」「グルメ」「歴史文化」「景観」に分類し写真とともに掲載しております。



観光口コミ情報の
アクセス方法

- ①アドレスを直接入力する
<http://www.hokuto-shinkin.co.jp/kutikomi/>
- ②京都北都信用金庫 観光口コミ情報で検索する

京都北都信用金庫 観光口コミ情報 検索

- ③二次元
コードで
読み取る





● 地域や利用者に対する積極的な関わり

お客さまへの積極的な情報発信

◎Facebookによる情報発信

当金庫の地域活性化に向けた活動をもっとお客さまに知っていただくため、Facebookによる情報発信を行っています。

皆さまからの「いいね!」をお待ちしています。



◎LINEによる事業者に向けた情報発信

ものづくり補助金のほか各種補助金申請のためのセミナーのご案内など、事業者の皆さまにとって有益な情報や、当金庫のおすすめ情報を配信しています。是非「友だち」登録をお願いします。



地域社会への貢献

◎金融犯罪防止に向けた取組み

手口が多様化する特殊詐欺被害を未然に防止するため、所轄警察署と連携・協力し、多額の現金出金の際にはアンケートを活用して、被害防止に努めています。

令和4年度は、振込詐欺等特殊詐欺被害を未然に防止したとして、網野支店、田中支店、西町支店の職員が所轄警察署より感謝状をいただきました。当金庫では、お客さまのご預金をお守りするために、今後も特殊詐欺被害未然防止に努めてまいります。



網野支店



田中支店



西町支店

◎子ども金融教室

地域の小・中学校を対象に次世代を担う子どもたちへの金融知識の普及を目的とした「子ども金融教室」出前講座を、京都府金融広報委員会(事務局:日本銀行京都支店)の協力を得て開催しています。令和4年度は、舞鶴市立新舞鶴小学校の児童を対象に開催し、「生きていくために必要なお金」について、人生シミュレーションゲームなどを交えて楽しく学んでいただきました。

(令和4年度実績)

開催年月	学校名	対象学年
令和5年3月	舞鶴市立新舞鶴小学校	6年生 (85名)



地域活性化の実現に向けて

◎スポーツ大会の主催、協賛

■第17回ほくとしんきん杯両丹軟式野球選手権大会(三世代野球大会) 令和4年10月

京都府北部地域の活性化と生涯スポーツとしての軟式野球の普及・発展を願い、学童・社会人・還暦の三世代にわたる野球仲間の交流を目的として京都軟式野球連盟が主催、当金庫が特別協賛しています。学童と社会人の部それぞれ8チーム、還暦の部6チームの合計22チームにご参加いただきました。

部門	成績	チーム名	地区
学童の部	優勝	惇明ホークス	福知山
	準優勝	美河スポーツ少年団	福知山
社会人の部	優勝	峰山商友クラブ	丹後
	準優勝	Joker	舞鶴
還暦の部	優勝	福知山倶楽部	福知山
	準優勝	峰山シニアクラブ	丹後



■第10回ほくとしんきん杯京都北部小学生バレーボール新人大会 令和5年2月

小学生の子どもたちがバレーボールを通じて地域間交流を図る目的で、当金庫営業地区の小学生を対象にバレーボール新人大会を開催しています。男子の部4チーム、男女混合・女子の部30チームの合計34チームにご参加いただきました。

部門	成績	チーム名	地区
男子の部	優勝	福知山モンキーズ	福知山
	準優勝	中筋ジュニアバレーボールクラブ	舞鶴
男女混合・女子の部	優勝	大井ジュニアバレーボールクラブ	亀岡
	準優勝	昭和少女バレーボールクラブ	福知山
	第三位	舞鶴城南	舞鶴
	第三位	園部小学生バレーボールクラブ	南丹



■第21回ほくとしんきん杯京都府北部中学校野球大会 令和5年3月

スポーツを通じた青少年の健全な育成を目的として、当金庫営業地区内の中学校を対象に軟式野球大会を開催しています。福知山、綾部、舞鶴、宮津・与謝、京丹後の各地区から選抜された12チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

成績	チーム名
優勝	福知山市立日新中学校
準優勝	舞鶴市立青葉中学校
第三位	舞鶴市立白糸中学校
第三位	福知山市立南陵中学校



◎地域ボランティア活動への参加

美しい街並みと自然景観を守るため、各地域で清掃活動ボランティアに積極的に取り組んでいます。



天橋立清掃ボランティア活動



京丹後市ビーチ斉クリーン作戦



まいづるクリーンキャンペーン

◎「ゆかたを楽しむ月間」の取組み

地場産業である「丹後ちりめん」の振興を目的に、令和4年7月1日から8月31日までの期間、14店舗において職員がゆかたや法被を着用してお客さまをお迎えしました。



本店営業部



峰山中央支店



篠尾支店



舞鶴中央支店



令和4年度ほくとしんきんトピックス

◎「京都北都信金アプリ」を本格リリースしました

令和5年3月20日、個人向けスマートフォンアプリ「京都北都信金アプリ」を本格リリースしました。

当アプリは、お取引内容の確認や口座開設、キャンペーン情報の受取等の機能があり、お客さまからは大変便利と好評をいただいております。

今後は「ほくとしんきんがスマホのなかに」のキャッチフレーズのもと、個人のお客さまへの当金庫の玄関口として、アプリを順次機能拡充し、より便利で様々なサービスを提供していく予定としています。「京都北都信金アプリ」を通して、京都北都信用金庫がお客さまにとってより身近で便利な金融機関となるように努めてまいります。



ダウンロードは
下記二次元コードもしくは
「京都北都信金アプリ」で検索

iPhone
の方はこちら➡



Android
の方はこちら➡



◎東舞鶴中央支店がリニューアルオープンしました

令和4年5月23日、東舞鶴中央支店がリニューアルオープンしました。1階は当金庫ロゴマークをモチーフにした丸みのあるデザインで、ロビーは外部との一体感と開放感が感じられる明るい空間となっています。また、2階には芝生広場、屋上には太陽光パネルを設置するなど、環境保護を意識した造りやデザインとなっています。



●「令和4年度あったか子育てきょうと表彰」を受賞しました！

令和4年11月12日、当金庫の育児に関する制度の充実や取組みが評価され、京都府より、子育てにやさしい企業部門「令和4年度あったか子育てきょうと表彰」を受賞しました。

育児休業開始3日間を有給とするなどの男性職員が育休取得しやすい制度の導入により育休取得率100%(男女とも)を達成したことや、育児休業取得中の職員向け育休懇談会の開催等が評価されたものです。今後も子育てがしやすいあたたかい職場をさらに推進できるよう取組みを続けてまいります。



●「税のキャッシュレス納付宣言式」を開催しました！

令和4年11月10日に「税のキャッシュレス納付宣言式」を開催しました。

当金庫は、事業者の皆さまのデジタル化・DX支援、新型コロナウイルス感染症対策として、非対面・非接触で税金の納付が完結する「税のキャッシュレス納付」を官民で協力して推進してまいります。



●「地域脱炭素・京都コンソーシアム」に参画しました！

令和4年12月1日、地域金融機関のネットワークを活用して、融資先企業の脱炭素化を促すことを目的に、京都府が設置する「地域脱炭素・京都コンソーシアム」に参画しました。

当金庫は、同コンソーシアムによる「京都ゼロカーボン・フレームワーク」を活用し、京都府内中小企業の脱炭素化を推進してまいります。

●株式会社商工組合中央金庫と「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」の締結！

令和4年7月28日、中小企業へのソリューション提供を強化するため、株式会社商工組合中央金庫と「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」を締結しました。本覚書は、大口の資金調達や財務構造改善等に取組む中小企業を後押しするため、双方のネットワークを活用し、中小企業の円滑な資金調達をサポートするものです。

株式会社商工組合中央金庫とは、相互の連携を円滑にするため、平成16年3月に業務協力文書を締結しています。本件により、従来以上に連携を強化することで地域経済の活性化に貢献してまいります。



●東舞鶴中央支店の二宮尊徳像を移設しました！

東舞鶴中央支店の旧店舗に30年以上前に設置され、商店街を見守るシンボルとして近隣住民の方に愛されてきた二宮尊徳像を、福岡ゼミナールさまの西舞鶴本校に移設しました。

当像は、東舞鶴中央支店の新築移転に伴い解体処分となる予定でしたが、取引先を中心に引き受け先を募ったところ、当地で学習塾を運営されている福岡ゼミナールさまより快諾を頂き、令和4年7月4日に引渡しを行いました。福岡社長さまは、東舞鶴中央支店長との会談で、30年前の設置当時と、現在の社会背景や教育環境の変化にふれ、思想家である二宮尊徳の精神論を後世に引き継いでいきたいとの想いで共感されました。



●店舗内店舗による店舗移転を行いました！

「弥栄支店」、「浜詰支店」、「加悦支店」および「府中支店」は、店舗内店舗による店舗移転を行いました。「店舗内店舗」とは、一つの建物に複数の店舗が同居して営業する形態のことをいい、令和4年7月に「弥栄支店」を「峰山中央支店」、同年8月に「浜詰支店」を「網野支店」、同年9月に「加悦支店」を「野田川支店」、同年10月に「府中支店」を「岩滝中央支店」の店舗内に、それぞれ移転しました。営業窓口の移転により、大変ご不便をおかけいたしますが、サービスの向上に努めてまいりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。





「金融仲介機能のベンチマーク」の概要

平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク」のうち、全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な指標である共通ベンチマークを開示いたします。

当金庫は、お客さまから「取引して良かった」と思われる親近感・信頼感のある地域金融機関を目指すために、引き続き地域活性化等に資する金融仲介機能の発揮や企業価値の向上に取り組んでまいります。

1.取引先企業の経営改善や成長力の強化

■メイン先のうち経営指標の改善等が見られた先数・融資額

		令和4年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
メイン先数		2,926社	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	896億円	862億円	811億円
メイン先の融資残高		1,194億円				
経営指標が改善した先数		1,946社				

※ メイン先…法人は当金庫の融資残高が最も多い先（取引先グループベース）、個人事業主は全先をメイン先としています。

※ 経営指標等…①売上高、②営業利益（①②のいずれかが改善した先）

2.取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

■貸出条件変更先の経営改善計画の進捗状況

令和4年度						
条件変更総数	好調先	順調先	不調先			
			うち経営改善計画のある先	うち経営改善計画のない先	合計	
258社	5社	23社	58社	172社	230社	

※ 条件変更先…不動産業の分譲地販売までの元金据置などを除く条件変更した先。中小企業再生支援融資、信用保証協会の経営サポート保証15年返済の融資を活用し、借入金を統合した先。ただし、債務者区分が実質破綻先、破綻先を除いています。

※ 経営指標等…①売上高かつ②簡易キャッシュフロー（営業利益+減価償却費）を指標とし、好調、順調、不調を判定しています。

※ 好調：計画達成率120%超、順調：計画達成率80%以上120%以下、不調：計画達成率80%未満または計画未策定先

■当金庫が関与した創業・第二創業の件数

	令和4年度
創業件数	114件
第二創業件数	0件

※ 創業先…創業計画の策定支援や創業期の取引先への融資先等

※ 第二創業…既に事業を営んでいる企業の後継者が新規事業を開始した融資先等

※ 創業期（創業、第二創業から5年まで）の取引先への融資実行先としています。

■ライフステージ別の与信先数・融資額

	令和4年度					
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	4,258社	267社	268社	3,077社	324社	322社
与信先に係る事業年度末の融資残高	1,703億円	77億円	147億円	1,078億円	97億円	302億円

※【創業期】（法人）法人設立から5年以下、かつ条件変更または延滞をしていない先

（個人事業主）「個人事業主創業期判定シート」により創業先と判定した先、かつ条件変更または延滞をしていない先

【成長期】売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先

【安定期】売上高平均で直近2期が過去5期の80%以上120%以下の先

【低迷期】売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先

【再生期】条件変更先、延滞している先

3.担保・保証依存の融資姿勢からの転換

■事業性評価に基づく与信先数・融資額等

	令和4年度	
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	1,084社	655億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	25.4%	38.4%

※ 事業性評価シートを作成し、そのシートに基づき顧客と対話した与信先数及び当該与信先への事業年度末の融資残高。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	令和4年度
新規に無保証で融資した件数	575件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	23.22%
保証契約を解除した件数	3件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	1件

金融ADR制度への対応

〔苦情処理措置〕

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページで公表しています。

苦情は、当金庫営業日(9時～17時)に営業店(電話番号は店舗一覧を参照)またはお客様サポートセンター(フリーダイヤル:0120-4910-86)にお申し出ください。

〔紛争解決措置〕

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に左記お客様サポートセンターまたは全国しんきん相談所(9時～17時、電話:03-3517-5825)にお申し出があれば、京都弁護士会(電話:075-231-2378)、東京弁護士会(電話:03-3581-0031)、第一東京弁護士会(電話:03-3595-8588)、第二東京弁護士会(電話:03-3581-2249)の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。なお、東京、第一東京、第二東京弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。

金庫の主要な事業の内容

- 1.預金業務…当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、譲渡性預金等を取扱っております。
- 2.貸出業務(1)貸付…手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取扱っております。
(2)手形の割引…銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形等の割引を取扱っております。
- 3.有価証券投資業務…預金の支払準備及び資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。
- 4.内国為替業務…送金為替、振込及び代金取立等を取扱っております。
- 5.附帯業務(1)代理業務
 - ①日本銀行歳入代理店
 - ②地方公共団体の公金取扱業務
 - ③信金中央金庫の代理店業務
 - ④株式会社日本政策金融公庫等の代理貸付業務
 - (6)公共債の引受
 - (7)国債等公共債及び投資信託の窓口販売
 - (8)保険商品の窓口販売(保険業法第275条第1項により行う保険募集)
 - (9)スポーツ振興くじの払戻業務
 - (10)確定拠出年金法により行う業務
 - (11)電子債権記録業に係る業務
 - (12)地域活性化等業務
- (2)信託代理店業務
- (3)保護預り及び貸金庫業務
- (4)有価証券の貸付
- (5)債務の保証

